



2026年8月4日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 山浦 敦
(コード番号 7951 東証プライム)
問合せ先 執行役員コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子
(TEL 053-460-2210)

2027年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

□ 第1四半期業績の概要 ― 増収・増益 ―

2027年3月期 第1四半期の売上収益は、北米、欧州を中心とした堅調な楽器販売に加え、為替の円安による影響などにより、前年同期に対して124億円(12.0%)増加の1,163億円となりました。事業利益は、生産コストの上昇があったものの、円安による為替影響、モデルミックスの変化および価格適正化により、前期に対し46億円(97.8%)増加の93億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、米国における関税還付金43億円をその他の収益に計上したことなどにより83億円(348.8%)増加の107億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

●楽器事業

売上収益 777 億円 (前期比 16.8%増) 事業利益 65 億円 (前期比 207.9%増)

アコースティックピアノは、欧州、北米等で販売を伸ばし増収となりました。電子楽器は、デジタルピアノの需要増に加え、ポータブルキーボードがその他の地域で販売を伸ばし増収となりました。管弦打楽器は、欧州の管楽器販売が好調で増収となりました。ギターは、北米でアコースティックギターの販売が増加し増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し111億円の増収となりました。事業利益は、44億円の増益となりました。

●音響機器事業

売上収益 350 億円 (前期比 5.9%増) 事業利益 28 億円 (前期比 21.7%増)

コンシューマー音響機器は、北米の販売が堅調で増収となりました。プロフェッショナル音響機器は、国内での販売が堅調に推移したことなどにより増収となりました。モビリティ音響機器は、国内、その他の地域で販売を伸ばし増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し20億円の増収となりました。事業利益は、5億円の増益となりました。

●その他の事業

売上収益 37 億円 (前期比 15.0%減) 事業利益 0.2 億円 (前期は3億円の利益)

自動車用内装部品とFA機器は、減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し7億円の減収となりました。事業利益は、3億円の減益となりました。

□ 2027 年 3 月期 業績予想 — 前回予想を据え置き —

第 1 四半期は増収・増益となったものの、第 2 四半期以降は材料コストアップ、中東情勢等、依然として事業環境の不確実性が高いことを踏まえ、2027 年 3 月期の通期業績予想は、売上収益 4,900 億円（前期比 5.3%増）、事業利益 380 億円（前期比 19.2%増）と前回予想を据え置きます。親会社の所有者に帰属する当期利益は、米国における関税還付の影響で 280 億円（前期比 18.0%増）から 310 億円（前期比 30.7%増）に上方修正いたします。

本予想における想定為替レートは、対 US ドル 155 円、対ユーロ 180 円です。

注 1) 事業利益とは、売上総利益から販売費および一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注 2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2027年3月期第1四半期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社
2026年8月4日

(1) 主要財務指標

	前期第1四半期実績 (‘25/4月-6月)	第1四半期実績 (‘26/4月-6月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (‘26/5/11発表)
	26年3月期	27年3月期	26年3月期	27年3月期	27年3月期
売上収益	1,039億円	1,163億円	4,653億円	4,900億円	4,900億円
うち国内	281億円 (27.1%)	289億円 (24.8%)	1,118億円 (24.0%)	1,125億円 (23.0%)	1,125億円 (23.0%)
うち海外	757億円 (72.9%)	874億円 (75.2%)	3,536億円 (76.0%)	3,775億円 (77.0%)	3,775億円 (77.0%)
事業利益 ^(※1)	47億円 (4.5%)	93億円 (8.0%)	319億円 (6.9%)	380億円 (7.8%)	380億円 (7.8%)
営業利益	46億円 (4.4%)	138億円 (11.9%)	293億円 (6.3%)	425億円 (8.7%)	380億円 (7.8%)
税引前利益	38億円 (3.6%)	148億円 (12.7%)	353億円 (7.6%)	435億円 (8.9%)	390億円 (8.0%)
当期利益 ^(※2)	24億円 (2.3%)	107億円 (9.2%)	237億円 (5.1%)	310億円 (6.3%)	280億円 (5.7%)
為替レート	145円/US\$ 163円/EUR	160円/US\$ 185円/EUR	150円/US\$ 173円/EUR	155円/US\$ 180円/EUR	155円/US\$ 180円/EUR
ROE ^(※3)	2.1%	8.8%	5.1%	6.3%	5.7%
ROIC ^(※4, 5)	2.5%	5.3%	4.5%	5.3%	5.4%
ROA ^(※6)	1.6%	6.8%	3.9%	4.9%	4.4%
1株当たり利益	5.3円	24.3円	52.7円	70.5円	63.7円
設備投資額 (減価償却費)	25億円 (34億円)	21億円 (37億円)	144億円 (141億円)	160億円 (155億円)	160億円 (155億円)
研究開発費	66億円	74億円	277億円	290億円	290億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	51億円	163億円	458億円	660億円	610億円
投資活動	△21億円	△59億円	△79億円	△150億円	△150億円
フリーキャッシュフロー	30億円	104億円	379億円	510億円	460億円
期末在庫高	1,520億円	1,610億円	1,523億円	1,460億円	1,460億円
(要員数)					
国内	5,744人	5,792人	5,574人	5,600人	5,600人
海外	13,198人	12,255人	12,312人	12,400人	12,400人
正社員計 ^(※7)	18,942人	18,047人	17,886人	18,000人	18,000人
正社員外要員(期中平均)	5,577人	6,092人	5,730人	5,800人	5,800人
(事業別売上収益)					
楽器	665億円 (64.0%)	777億円 (66.8%)	3,049億円 (65.5%)	3,220億円 (65.7%)	3,220億円 (65.7%)
音響機器	330億円 (31.8%)	350億円 (30.0%)	1,424億円 (30.6%)	1,500億円 (30.6%)	1,500億円 (30.6%)
その他	44億円 (4.2%)	37億円 (3.2%)	180億円 (3.9%)	180億円 (3.7%)	180億円 (3.7%)
(事業別事業利益 ^(※1))					
楽器	21億円	65億円	212億円	240億円	240億円
音響機器	23億円	28億円	108億円	130億円	130億円
その他	3億円	0億円	△1億円	10億円	10億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

27年3月期 第1四半期累計実績 (‘26/4月-6月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 ^(※8)	売上収益	前期比 ^(※8)	売上収益	前期比 ^(※8)	売上収益	前期比 ^(※8)
日本	165億円	103%	107億円	102%	18億円	93%	289億円	102%
北米	198億円	109%	79億円	102%	17億円	78%	293億円	104%
欧州	159億円	108%	74億円	91%	0億円	186%	232億円	102%
中国	90億円	98%	21億円	73%	1億円	33%	112億円	90%
その他	166億円	112%	69億円	103%	1億円	125%	236億円	110%
合計	777億円	107%	350億円	98%	37億円	81%	1,163億円	103%

*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

*3, 4, 6 ROE・ROIC・ROAは年換算値

*5 ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

*7 要員数＝期末社員在籍数

*8 前期比は為替を除いた実質ベースでの前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。